

「我が国の港湾政策の現状と展望」

日時：5月11日(火) 16:50-18:35 (5限)

**国際学術総合研究棟4階SMBCホール(20名まで)に
おける対面授業とオンラインでの受講の併用**

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、
国土交通省港湾局長 高田昌行氏からお話を伺います。

四方を海に囲まれ、臨海部に人口・資源等が集積する我が国において、
港湾は99.6%もの貿易量を担っており、国民生活の質の向上や産業
活動の発展に大きな役割を果たしています。

本講義では、企業の立地環境を向上させ、我が国経済の国際競争力
の強化を図る国際コンテナ戦略港湾政策や、港湾や一般海域における
洋上風力発電の導入促進、我が国の質の高い港湾インフラの海外展開、
港湾におけるカーボンニュートラルに向けたLNG・水素等の活用など、現
在、国土交通省が取り組んでいる主要な港湾政策を紹介するとともに、
将来の展望について考察します。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎します。(使用言語：日本語、本学学生以外の
一般の方は参加・アクセス出来ません。)

※ 対面授業を希望する学生は、下記アドレスまで、授業前日17時までに連絡すること。先着順に受け
付けし、教室の定員を超えた場合にのみ個別に連絡する。

※ オンライン授業URLはITC-LMS又はUTASで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本科目を
仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

一問い合わせ： 交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



国土交通省
港湾局長
高田昌行氏

公共政策大学院2021年度夏学期開講科目

国際交通政策

講義時間：火曜5限 16:50～18:35

場所：国際学術総合研究棟4階SMBCホールにおける対面授業とオンライン授業（Zoomによる時間割に沿ったライブ実施）の併用。ZOOMアドレスはITC-LMSで確認して下さい。

対象：本学大学院生（本学学部生の聴講も歓迎）

担当教員：公共政策大学院 宿利客員教授、軸丸特任教授、大橋教授

国際交通分野の各界トップによる講義と、講師・教員や多様な研究科の学生とのディスカッションを通じて、交通・運輸の実態を踏まえた政策のあり方について考察を深めます。多くの学生の参加を期待しています。

（国際交通政策は科学技術イノベーション政策の科学（STIG）教育プログラム選択科目です）

講義一覧

日程	講義内容	講師
4/6	イントロダクション 航空政策を巡る環境変化と今後の課題	公共政策大学院客員教授 同特任教授 宿利 正史 軸丸 真二 国土交通省航空局長 和田 浩一 氏    宿利教授 軸丸教授 和田氏
4/13	ネットワーク産業と経済学	公共政策大学院院長/大学院経済学研究科教授 大橋 弘 
4/20	コロナ禍で加速する新たな物流の潮流について ～フィジカルインターネット～	ヤマトホールディングス株式会社特別顧問 木川 真 氏 
4/27	交通インフラ海外展開を巡る現状と課題	国土交通省国土交通審議官 藤井 直樹 氏 
5/11	我が国の港湾政策の現状と展望 ※横浜港現地視察は中止となりました	国土交通省港湾局長 高田 昌行 氏 
5/18	交通社会資本としての鉄道整備	政策研究大学院大学特別教授 森地 茂 氏 
6/1	ポストコロナ時代に空港の果たすべき役割 ※成田国際空港現地視察	成田国際空港株式会社代表取締役社長 田村 明比古 氏 
6/8	我が国外航海運のダイナミズムと今後の展望 ～定期船事業を核にして～	日本郵船株式会社取締役会長、一般社団法人日本船主協会会長 内藤 忠顕 氏 
6/15	空港コンセッションと公共政策 福岡空港の取組み ※福岡国際空港現地視察	国土交通省航空局航空ネットワーク部長 鶴田 浩久 氏 福岡国際空港株式会社 代表取締役社長執行役員 永竿 哲哉 氏  
6/22	国鉄改革とJR～東海道新幹線から超電導リニアへ～	東海旅客鉄道株式会社名誉会長 葛西 敬之 氏 
6/29	日立的の海外鉄道事業の概況と市場動向の考察	株式会社日立製作所執行役常務 光富 眞哉 氏 
7/6	クルマの進化と未来のモビリティ社会	トヨタ自動車株式会社執行役員、コネクティッドカンパニーPresident 山本 圭司 氏 
7/13	アフターコロナにおけるANAグループの持続的成長に向けて	全日本空輸株式会社 代表取締役社長 平子 裕志 氏 